

【フランス語学専攻の大学院を目指す皆さんへ】

フランス語学専攻科への進学および受験を志すにあたって、次のことを心がけて下さい。

まず、大学院で何を研究したいかをよく考えて下さい。フランス語学専攻の研究分野は大きく分けて、フランス語学、フランス語教育、フランス文学、フランス思想、フランス文化の5つに分かれています。教員の研究について知ること、自分の研究の方向性を考えるための参考になります。大学のホームページの教員紹介欄などでも教員の研究について知ることができます。教員は自分の研究課題に限らず、研究経験を踏まえてより幅広い研究課題についての指導もできますので、必要に応じて相談してください。

次に、フランスあるいはフランス語圏に関する研究を行うためにはフランス語の実践的な能力が必要です。従って、フランス語の実力をつけて下さい。これは、研究の分野や課題を問わず共通に求められる条件です。

入試では、主として、フランス語の読解力および表現力が試されます。また、出願書類および面接試験において、大学院で何を研究したいかも問われます。

【参考文献例】

大学院を受験するにあたって参考になりそうな文献を紹介します。皆さんが研究の方向性や課題を考えるための手掛かりになる文献の一部です。発行年は挙げてありませんが、改訂されたもの場合にはできるだけ最新版を参照して下さい。

■フランス語全般（入門書や一般文法書以外のもの）

- ・田島宏他著『コレクション「フランス語」7（書く）』白水社
- ・朝倉季雄著、木下光一校閲『新フランス文法事典』白水社

■フランス語学

- ・『中級フランス語』シリーズ、白水社
- ・朝倉季雄著、木下光一校閲『フランス文法集成』、白水社
- ・木下教授喜寿記念論文集編集委員会編集、『フランス語学研究の現在』、白水社
- ・東京外国語大学グループ《セメイオン》著『フランス語学の諸問題』シリーズ、三修社
- ・『フランス語学の最前線』シリーズ、ひつじ書房
- ・Chiss, Filliolet, Maingueneau, Introduction à la linguistique française, Hachette

■フランス語教育

- ・中村啓介、長谷川富子著『フランス語をどのように教えるか』駿河台出版社
- ・Evelyne Bérard, L'approche communicative, Clé International
- ・Agnès Disson, Pour une approche communicative dans l'enseignement du français au Japon, Presse Universitaire d'Osaka.
- ・Janine Courtillon, Elaborer un cours de FLE, Hachette

■フランス文学史

- ・渡辺一夫、鈴木力衛著『フランス文学案内』岩波書店

- ・ 柏木隆雄ほか著『エクリチュールの冒険—新編・フランス文学史 大阪大学新世紀レクチャー』 大阪大学出版会
- ・ 塩川徹也ほか著『フランス文学 中世から現代まで』放送大学教育振興会
- ・ 江花輝昭ほか著『フランス文学史』ミネルヴァ書房

■ フランス思想

- ・ 福井芳男ほか編集『フランス文学講座 思想』大修館書店
- ・ 竹田篤司著『モラリスト—生き続ける人間学』中央公論社
- ・ Denis Huisman, *Histoire de la philosophie française*, Perrin

■ フランス史

- ・ 望田幸男ほか著『西洋近現代史研究入門』名古屋大学出版会.
- ・ 佐藤彰一ほか著『西洋中世史研究入門』名古屋大学出版会
- ・ 池上俊一ほか著『西洋中世学入門』東京大学出版会.
- ・ 福井憲彦『近代ヨーロッパの覇権』講談社
- ・ 佐藤彰一・中野隆生編『フランス史研究入門』山川出版社
- ・ 杉本淑彦・竹中幸史編『教養のフランス近現代史』ミネルヴァ書房

以下は関心のある時代に応じて、該当する巻を読んでください

- ・ Jean Favier et al, *Histoire de France*, 6 vols, Fayard
- ・ Georges Duby et al, *Histoire de France*, 5 vols, Hachette
- ・ Marcus Bull et al, *Short Oxford History of France*, 6 vols, Oxford U.P.